



あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

'92 10月号



平成4年度
博物館実習

きになる木

寄贈品コーナー展示
9月19日
～10月30日

■9月11日から一週間、博物館には学芸員の資格を取得するための博物館実習を受講する26名の大学生が集まりました。

平塚市博物館の概要説明、続いて3日間の資料整理実習を受けた実習生達が最後に挑むのは、恒例になっている寄贈品コーナーの展示制作です。今年度の展示は「きになる木」をテーマに作業が進められ、9月19日からみなさんにご覧いただくことになりました。

■今回学芸員から実習生に対して提示された展示資料は、木製の民俗資料と樹木標本等の生物資料。その資料を見て展示のテーマと構成を考えることから作業が始まります。

■作業は展示構成班、解説班、写真班、ラベ

ル班に分かれて行われました。しかし、頭のなかで考える展示作業と、実際の展示技術とではやはり隔たりがあり、思った通りに進行しない場面もしばしばだったようです。予定の19日午後3時に遅れること約5時間、夜8時すぎにようやく展示を完了しました。

■完成した展示は「家をつくる木」「知恵をふきこまれた木」「木いろいろ」の3コーナーにわかれ、常設展示「相模の家」も巻き込んだダイナミックな構成になっています。家屋に使われてきた木、木を材料として作られた道具、おやっ?と思うような意外な木の利用、そして生物としての木や植生の話を紹介しています。

■博物館の行事の中で、なぜかいちばんマスコミに人気があるのが、この会です。今年になってから日本経済新聞・読売新聞の各本社・神奈川テレビから取材があり、9月には日本テレビの撮影もありました。早朝だというのにごくろう様です。

■なぜ人気があるかというと、どうも昨今の環境ブームに原因があるようです。確かにゴミでいっぱい砂浜の現状を見ると、我々人間が自然をいかに痛めているかが一目了然です。

（平成4年5月15日 読売）



波が運んだ「贈り物」

「漂着物の世界」展の会場、神奈川県立見附台体育館。会場には、漂着物の世界を展示するコーナーが設けられ、多くの来場者が興味をもち、展示品を眺めている。会場には、漂着物の世界を展示するコーナーが設けられ、多くの来場者が興味をもち、展示品を眺めている。

余暇

（平成4年5月15日 読売）

（平成4年5月15日 読売）

「漂着物の世界」展の会場、神奈川県立見附台体育館。会場には、漂着物の世界を展示するコーナーが設けられ、多くの来場者が興味をもち、展示品を眺めている。会場には、漂着物の世界を展示するコーナーが設けられ、多くの来場者が興味をもち、展示品を眺めている。

（平成4年5月15日 読売）

会に集まっている市民の方々も、そのことは十二分に感じていて下さるものと思っています。ただ、私たちの会の場合、ハチマキをしめてゴミ拾いに精を出すというマジメな方向ではなく、面白い漂着物を集めて楽しんでしまおうという姿勢もだいじにしています。何事も余裕をもってながめた方が、案外と深く見つめることができると思うからです。■2年半にわたって続けてきた会の収穫は、冬の特別展「砂浜の発見—漂着物の世界—」で紹介する予定です。お楽しみに。また、それに先だって下記の催しでミニ展示をしますので、足を運んで下さい。

瓶や缶・動物の骨・ヤシの実...

ロマンかき立てる漂着物

「自然「異国」に思い巡らす」
収集通じ新たな発見



その日の漂着物を拾った人（左から）のメンバー（神奈川県立見附台体育館）

漂着物の展示予定

10月17・18日 「エコライフ・フェア」
会場／平塚市立見附台体育館
主催／神奈川県平塚消費生活センター
リサイクル・省エネなどをテーマにたくさんの展示があります。
12月12日～1月30日
特別展「砂浜の発見—漂着物の世界—」
くわしくは12月号で紹介します。

（平成4年8月4日 日経）

今月のプラネタリウム

星の一生 Part III 赤色巨星への道

9月12日
～11月1日

神奈川県環境科学センター

平塚市中原下宿842

「かんきょうかがくセンター」などという
と、とても難しいことをやっているところの
ようにも思いますが、実は、私たちの毎日の
生活にとってもかかわりの深い施設なのです。
人間や動物が生きていく上で欠かせない空気
や水の汚れのこと、騒音や振動のことなど、
広く私たちを取りまく環境について研究したり、
改善をうながしたりするのが仕事です。
展示コーナーでは、見たり試したりしながら
たくさんの方が学べるようになっています。

展示内容の一部を紹介すると

〔よりよい生活〕

私たちの身の回りにくらしている鳥や虫
たちの声を聞くことができます。

〔私たちの生活と環境〕

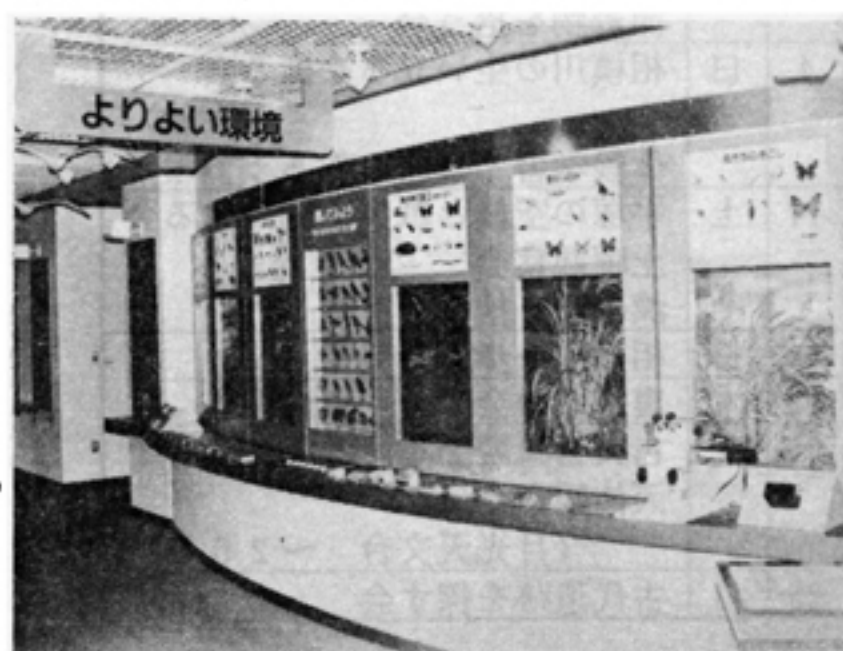
騒音体験ボックスに入るといろいろな騒
音が聞こえます。大声を出して自分の声
が何ホーンか試してみましょう。

〔私たちのまち〕

宇宙から見た神奈川県の写真パネルもあ
ります。緑の多いところはどこかな？

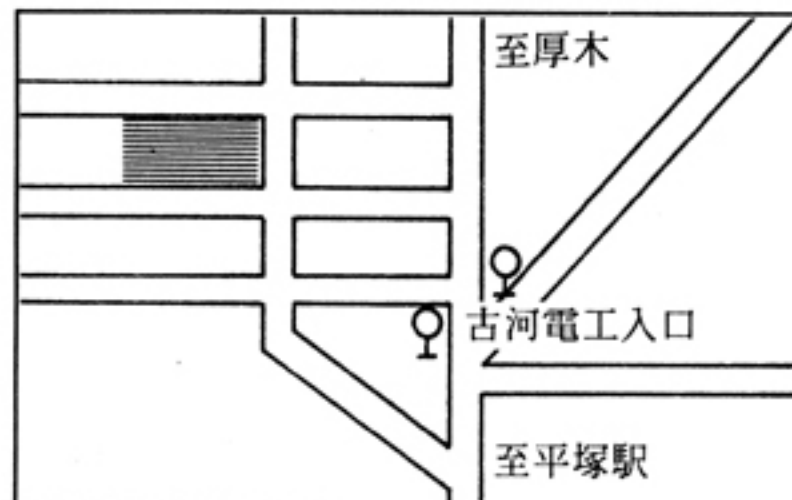
〔地球と環境〕

オゾン層の破壊・地球温暖化・酸性雨、
このまま進むと恐ろしいことに……。
そんな地球の様子がジオラマで表わされ
ています。



* 展示室のようす

下の写真で右に見えるのはゴミタワー（約
2m）です。4人家族一週間分のゴミの種
類と量を、20年前と現在との比較で示し
ています。ちがいを比べてみましょう。



《利用案内》

利用時間：午前9時～午後4時30分

休日：年末年始（12/28～1/4）

交通機関：古河電工入口バス停から徒歩5分
駐車場はありません

団体利用：環境学習室等を団体利用すること
ができます。詳しくはセンターまで。

問合せ先：TEL 0463-24-3311

博物館カレンダー

10月の行事予定

2	金	星を見る会「月と土星」
3	土	ナチュラリスト講座 漂着物を拾う会
4	日	相模川の生い立ちを探る会 (大磯) 体験学習「巣箱を作ろう」
17	土	平塚の空襲と戦災を記録する会 土曜観察会 漂着物を拾う会
18	日	相模川を歩く会
22	木	裏打ちの会
24	土	古文書講読会 天体観察会 (月光天文台 ～25日)
25	日	古代遺跡を探す会

11月の行事予定

7	土	土曜観察会
8	日	古代遺跡を探す会
13	金	星を見る会 「秋の星座と星雲・星団」
14	土	古文書講読会 ナチュラリスト講座
15	日	相模川の生い立ちを探る会 (山北町) 体験学習「紙すき」
21	土	平塚の空襲と戦災を記録する会
26	木	裏打ちの会
28	土	古文書講読会 土曜観察会
29	日	相模川を歩く会

9/19～10/30 寄贈品コーナー

「きになる木(博物館実習生の展示)」

11/1～11/29 寄贈品コーナー「地質部門」

9/12～11/1 プラネタリウム

「星の一生 PartⅢ」

11/7～1/10 プラネタリウム「沈まない太陽」

9/17～ プラネタリウム 学習投影

■星を見る会「月と土星」

望遠鏡を使って月や土星を観察します。秋の星座もながめてみましょう。

開催日：10月2日(金)

時間：19:00～20:30

場所：屋上(科学教室集合)

参加：自由

備考：曇・雨天時中止

■星を見る会「秋の星座と星雲・星団」

アンドロメダ星雲、ペルセウス座二重星団等を望遠鏡でながめます。

開催日：11月13日(金)

時間：19:00～20:30

場所：屋上(科学教室集合)

参加：自由

備考：曇・雨天時中止

■ナチュラリスト講座

「獣医からみた野生動物」

大磯で獣医をされている中山先生のお話。

開催日：10月3日(土)

時間：18:00～20:00

講師：中山和也氏

会場：講堂

入場：無料

■ナチュラリスト講座「アシ原の鳥と自然

—大庭遊水池をフィールドに—

開催日：11月14日(土)

時間：18:00～20:00

講師：高橋和也氏(藤沢市立大庭中学校)

会場：講堂

入場：無料

■体験学習「紙すき」

伝統の技術による手すき和紙の作り方を学びます。

開催日：11月15日(日)

時間：9:00～15:00

会場：科学教室

参加費：800円(当日持参)

申込：往復ハガキに住所・氏名・電話番号を記入のうえ、「紙すき」係まで

〆切：11月8日(日)

定員：20名(応募者多数の場合抽選)

『あなたと博物館』 17巻7号 通巻193号 ©3000 発行 平塚市博物館

〒254 平塚市浅間町12-41

TEL(0463)33-5111 FAX(0463)31-3949